

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県飯豊少年自然の家	指定管理者	株式会社ヤマコー
所在地	西置賜郡飯豊町大字添川3535-33	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日	(電話番号)	(023-630-2831)
検証期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況		
① 管理・運營業務の履行状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理制度2期目の3年目となる今年度は、県職員の方々と協力連携を図り管理運營業務を履行し、利用団体数281団体(前年比117.6%)、実利用者数7,754名(前年比124.2%)、延利用者数9,362名(前年比118.0%)と、前年を上回る結果となりました。 自主事業チラシを市・町報に掲載して自然の家のPRを行ったほか、当社が管理運営を担う置賜地域の屋内遊戯場と連携した事業(出前によるクラフト作成)を年間11回開催し利用を通して広報活動を行いました。 県及び指定管理者の運営並びに調整会議の定期的な開催を継続して実施。情報の共有並びに協力体制を構築しました。 設備の不備対応では、安全性を最優先に消防設備の修繕を実施。(屋内消火栓ポンプ本体漏水工事、埋設配管漏水工事) 施設、設備等の老朽化による対応として、施設運営に支障が生じる前に修繕を実施。(厨房コンベクションオープン修理や殺菌灯交換、高架水槽加圧ポンプ漏水工事、大型バス修理等) 新型コロナウイルス感染防止対策として、政府や県の方針やガイドラインに沿って実施しました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 県と指定管理者間で定期的に会議を行う等、連携・協力体制を構築することで、適切な施設管理・運営がなされ、コロナ対策を踏まえた利用者増加の取り組みなどにより、利用者数が昨年度を上回った。 指定管理者のノウハウを活かした積極的な自主事業の実施や広報活動等がなされている。 仕様書に沿った各種点検の実施により、施設の要修繕箇所を早期に発見、対応し、施設の安全管理に努めている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> 大雨により敷地内活動地が被災。倒木や土砂により通行不可となった箇所が発生。(ホームリーダーや高校生ボランティアにより、テントサイトの土砂撤去は実施) 土砂により通行不可となったハイキングコースの名物「チャレンジ坂」の復旧が必要 老朽化による野外遊具の撤去(冒険の砦)と代替品についての是非を検討し、方向性を定めた計画を作成する必要があります。 	<p>《課題等の原因分析》</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨により施設内活動地が被災し、復旧が必要な箇所が発生した。ハイキングコースの修正などが必要である。 施設の老朽化が進行しており、修繕が必要な箇所が増加している。
課題、問題点への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全確保を第一に考え、県と指定管理者で協議しながら必要な修繕を適宜実施していく。 	
2 利用者からの要望等への対応		
① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 2種類の活動プログラムの問題掲示場所が同じ所にあり、どちらか分りにくいとのご意見に対し、掲示場所を別々にするよう改善しました。 館内夕食の主菜の量が少ないとの要望に対し、大盛りを選べるよう、給食業務委託先と検討中。 CDプレーヤーやアンプの電池を購入できるようにしてほしい要望に対し、販売品として令和5年度の利用ガイドへ記載。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの意見・要望に対しては積極的に改善対応を実施し、利用者アンケートの4段階評価においては「4満足」、「3概ね満足」が9割以上と、高い評価を得ている。
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 今後も利用者アンケート等で寄せられた意見・要望について積極的に対応の検討をしていただき、更なる満足度向上に努めていきたい。 	
3 指定管理者制度活用効果		
① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 「飯豊少年自然の家から新型コロナウイルスによる感染クラスターを出さない」という意志のもと、感染防止対策として利用者並びにスタッフの検温、体調確認表の記入、手指の消毒、換気を行いました。また、宿泊部屋や食堂の利用人数制限を設け、ソーシャルディスタンスを徹底しました。 安全な大型バス運行を目的に、冬道の安全運行研修(実技)を外部へ依頼し、実施しました。 利用者サービスの向上として、野外炊飯活動で使用するリヤカーや一輪車の劣化したタイヤを代替いたしました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者が快適に過ごすことができるよう、安全管理や衛生管理を強化している。 野外活動用品を整備するなど、利用者が充実した研修を実施できるよう環境整備を行っている。
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> 管内教育委員会への事業等チラシ配布について直接持参したほか、所内資料の印刷時は裏紙を利用し、事務費節減に努めました。 適宜、照明・ボイラーの入切りや冷房機の設定温度を28度に設定し、扇風機を活用して光熱費節減に取り組みました。 利用状況に応じて人員を配置し、人件費節減に努めました。 	<p>評価</p> <p>B</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務費や光熱費の削減といった身近な取組を徹底し、経費の削減に努めている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> 企画事業の「夜空を見上げよう」では「いいで天文台」へ、「高校生ボランティアセミナー」では、置賜教育事務所へ依頼し、それぞれ専門の講師による講義を実施しました。 高畠、南陽、置賜農業高校の生徒に、企画事業「春のオープンデー」ボランティアとして協力いただきました。 大雨による活動地キャンプサイトへ流出した土砂の撤去作業を、ホームリーダーや小国高校の生徒に依頼し協力いただきました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の施設や人材を活用し、また、学生ボランティアの協力などを得ながら事業を展開することで、地域の活性化につながっている。
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しつつ、県と指定管理者の協力体制のもと施設運営が行われ、魅力的な事業の実施がなされた。 事業展開や広報活動においては指定管理者のノウハウが生かされており、今後も利用者増加や施設の魅力度向上につなげていきたい。 	

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。